



出発を待つ「なのはな号」

横芝・松尾・蓮沼

町村民号

お座敷電車『なのはな号』の旅



▲もぎたてのりんごの味は格別です

カラオケは
歌い放題

横芝・松尾・蓮沼の2町1村とJRが共催するお座敷電車「なのはな号」の旅が10月17・18日の1泊2日で行われました。

横芝、松尾の両駅から180名の参加者が乗車。今年から新たにセットされたレーザードイスでカラオケを楽しみながら「りんご狩り」の旅へと

出発しました。

「なのはな号」で歌い放題、飲み放題の旅を満喫された皆さんは、小諸駅でバスに乗り換え、懐古園、湯の丸峠を巡り、車中からの紅葉を楽しみつつ草津温泉に到着。

宿の宴会では、又々自慢の歌や踊りを披露され、草津温泉の一夜を楽しまれました。



▶レバートリーはいくらでもあります



両手に沢山の

土産と思いい出

翌18日は、前夜の疲れも見せず宿を出発。4〜5日前に降った雪の残る白根山、約200年前の浅間山の噴火の際に400名近くの村民の内、ここに逃げ込むことのできた90数名のみ生き残ったという鎌原観音堂を見学後、今回の旅の目玉の一つである北軽井沢でのりんご狩りへと向いました。

りんご園では、たわわに実った樹の下でもぎたてのりんごの味を堪能していました。

その後、溶岩で形成された奇岩の連なる鬼押し出しを経て、中軽井沢の駅に到着。両手に沢山のお土産と旅の思い出を持ってお座敷電車「なのはな号」に乗車。再びカラオケを楽しみながら帰路につきました。